

共産党躍進 原発を止める力

党中国ブロック 論戦や運動を交流



能登半島地震を受けて防災対策や避難計画の見直しが進められる中、災害から住民を守る施策を前

に進めようと日本共産党国会議員団中国ブロック事務所は11日夜、オンラインで議会論戦や運動を交流しました。大平よしのぶ、垣内京美の両衆院中国比例予定候補、中国5県の地方議員らが参加しました。大平氏は、被災者生活再建支援金拡充などの課題とともに「原発の危険性が改めて突きつけられた」として、島根原発2号機再稼働反対の運動を強めたいとあいさつしま

した。島根県の尾村利成県議は、島根原発事故時の避難計画には実効性がないと述べ、石川県志賀原発の地元や、島根半島で住民の声を集め調査すると同時に「衆院島根1区補選での野党の勝利、総選挙での大平さんの議席奪還と党躍進が再稼働を止める力だ」と強調しました。(写真)

能登半島地震を踏まえた安全対策を申し入れたことを報告しました。山口県の藤本一規県議は、不足する福祉避難所の問題や愛媛県の伊方原発の30キロ圏内に含まれる山口県上関町八島の避難体制などを取り上げたと報告。広島県の藤井敏子県議も原発事故との複合災害を想定した計画を求め、石川県で支援ボランティアを行った岡山県の須増伸子県議は、断水が続く能登半島の教訓から、水道を広域化せず地域の自己水源を守るべきだと語りました。

4月28日の政治戦勝利へ

松江 党県委がプラスター宣伝



衆院島根1区の政治決戦の投票日まで1週間を切った22日、日本共産党県委員会は自主支援する立憲民主党の前衆院議員の勝利に向け、松江

市内の国道沿いでプラスター宣伝を行いました。上代善雄委員長、尾村利成、大国陽介、村穂江利子の各副委員長ら県常任委員9人が参加しました。(写真)

党県委員会は金権腐敗の自民党政治に審判を下すため、立民前職への支

山口氏及ばず

22年参院比例から得票伸ばす



4月16日告示・21日投票された川本町議選で、日本共産党の山口節雄氏(74)は定数9名に対し、13名が立候補する激戦の中、及びま

せんでした。山口氏は選挙中、▽国保税・介護保険料の引き下げ▽通院や買い物交通手段の拡充▽補聴器購入費用の5万円補助▽教材費など義務教育の保護者負担ゼロ▽鳥獣対策や資材・燃料高騰に対する支援▽米軍機の低空飛行訓練中止などの公約を訴えました。第一声には、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補、亀谷ゆう子衆院島根2区予定候補が応援に駆け付けました。(写真) 開票結果は次の通り。山口 節雄(元) 70票・12位 (投票率80・35%)

地域の話題

出雲 2号機再稼働反対 田食議員が要求

田食道弘町議は、糸原保町長に「住民の命、生活を守るため、原発再稼働反対の意思表明を行い、県知事に対し、島根原発2号機再稼働同意は撤回し、原発の安全性と避難計画の実効性を再検討するよう強く要請すべきだ」と質しました。

糸原町長は「島根県や松江市、雲南市などがつくった避難計画について、意見を述べる立場にはない」と答弁は控える」と述べるにとどまりました。また、田食町議は、人命にかかわる病院や避難所、高齢者福祉施設関係の土

アソコ

津 裏金疑惑解明意見書 市議団が提案

日本共産党江津市議団は、3月定例会に「政治資金規正法に係る疑惑解明を求める意見書案」を提案。自民党所属の市議でも賛成できるよう、高知県議会で自民党を含め全会一致となった意見書を参考に、国会議員の辞職や証人喚問には言及しない意見書案となっていました。しかし、3月18日の本会議では新政クラブの寺前克宏市議が反対討論。自民党・公明党で構成する新政クラブなどの反対により、意見書案は否決されました。(「こうつ民報」より)

伊藤議員「能登半島地震を受け、既に防災計画の見直しに着手したり、期限を決めて常に計画の見直しを行っている自治体もあると聞いている。「一刻も早くやる」ことが重要と考えるが、どうか。塚原町長「地震の被害想定は、関係法令や上位計画との整合や、町の情勢も

日本共産党 憲法記念日宣伝
5月3日(金・祝) 午前10時~ JR松江駅前
午前10時~ 出雲・ラピタ本店前
県議、市議らが憲法を守る決意を訴えます
*その他、各地でも街頭宣伝を実施します。

第95回 島根県中央メーデー
5月1日(水) 午前10時開会
会場：松江市・プラバホール 大ホール
主催：島根県中央メーデー実行委員会

憲法9条は世界の宝 **Make Peaceの集い**
5月3日(金・祝) 13:30~15:30
島根県民会館 中ホール 資料代500円
講演会「人権・命・平和・共存」 カトリック教会神父
—今の時代に日本国憲法を活かすとは— 講師：原田豊己さん
※ 終了後、会場周辺で15分程度パレードを予定。